



みなさんの暮らしと
つながっています。

Vol.79

令和7年(2025年)

12月1日発行

はまだ 議会だより

新体制議会始動



栄光を取り戻すために

議長 澁谷 幹雄

浜田市の現状の一番の問題点は、人口減少が加速していることです。20年前の1市4町村が合併した当時の6万3千人の人口は、現在4万8千人を割り込み、特に最近の4年間は4千人以上の人口減少です。出生数も令和6年度で約240人と、およそ半減。それに伴う経済規模の縮小が、市民の皆さんを苦しめています。

政治は「結果責任」。

人口は、まちの活力のバロメーターでもあります。いくら高邁な理想を説いたところで、良い結果が出ない政治は、市民の皆さんを幸せにすることはできません。

議会は、市政発展と市民の幸福の実現のために存在しています。予算編成権と執行権という強大な権力を持つ「市長部局」に、二代表制の一翼を担う「議会」は、審査権と提案権でその責任を果たすのが使命だと言われてきました。

しかしながら、浜田市の現状はそういう悠長な対応では、いかんともしがたい「衰退」の中にあります。議会は能動的かつ主体的にならなければならない時を迎えています。議会提案の子育て支援や都市整備などの市民のための政策がきちんと実現できるよう、予算獲得に積極的に踏み込みたいと考えます。それは、市民目線の市民のための市民の幸福の実現のための福祉政策と産業振興を図らなければ、この危機を脱却できるはずはないと考えるからです。



浜田市議会の発展へ 協働と信頼の議会運営を

副議長 笹田 卓

私はこれまで4期16年、「市民から目線」を掲げ、市民との対話を重ねながら議会改革に取り組んできました。はまだ議会だよりの刷新や「はまだ市民一日議会」の開催などを通じ、2024年には浜田市議会が議会改革度調査で全国第2位の評価を受けるなど、議員全員の努力の成果が実を結びました。

副議長としてまず目指すのは、議会運営の安定と活性化です。議長を支え、全議員が安心して意見を交わし、互いを尊重し合える環境を整えます。政策提言の実行・検証、市民への還元、一般質問での課題共有などを進め、実効性ある議会を目指します。

また、ハラスメント防止と働きやすい環境づくりを徹底し、条例提案の仕組みづくりを通じて、互いを尊重し合う議会文化の定着を目指します。さらに、市民との対話と発信を強化し、若い世代との交流を広げ、政治を身近に感じられる仕組みをつくります。

浜田市議会基本条例にある理念の下、市民に信頼され、必要とされる議会を築くため、副議長として協働の潤滑油となり、議会全体の前進に尽力する決意です。

11月臨時会議報告

令和7年11月4日に浜田市議会臨時会議を開催しました。議長および副議長選挙、議会運営委員および常任委員の選任を行い、その結果、議長は澁谷幹雄議員、副議長は笹田卓議員となりました。今後も全議員が市民の皆さまの代表として、市政発展のために全力で取り組みます。その他の議決事項は以下のとおりです。

浜田市監査委員

川神裕司が務めることと決しました。

浜田地区広域行政組合議会議員

西田一平、森谷公昭、大谷学、足立豪、岡本正友、川神裕司が務めることと決しました。

議長の常任委員の辞任について

議長は公正な議会運営の立場から、常任委員に選任された後、辞任することができます。澁谷議長から辞任の申し出があったため、議長を除く21人が三つの常任委員会（総務委員会、文教厚生委員会、産業建設委員会）に7人ずつ所属することとなりました。委員の構成は4、5ページをご確認ください。

各委員会の紹介



総務委員会



文教厚生委員会



産業建設委員会



議会広報広聴委員会



議会運営委員会



02 いまだ み のぶ
今田 実延

産業建設 広報広聴
議会運営

皆さまのお役に立てるよう、一生懸命頑張ります。



03 おかやま れい こ
岡山 令子

文教厚生 ○広報広聴

市民の皆さんの声を届ける存在として、初心を忘れず仕事に邁進していきます。



04 えんどう ひろあき
遠藤 祐之

○文教厚生 広報広聴

顔も名前も知らぬ私を押し上げて下さった皆さまのためにも働き抜きます。



08 もりたに まさあき
森谷 公昭

文教厚生

一日目から公約を破る三浦市長に「市民の声を聞く」という公約を守らせる！



09 おたに まなぶ
大谷 学

産業建設 ○広報広聴
議会運営

浜田の課題を改善して前進できるように全力を尽くします。



10 おきた しんじ
沖田 真治

○総務 広報広聴
議会運営

一生懸命に頑張ります。



14 くしぎき としゆき
串崎 利行

文教厚生 ◎予算決算

素早い決断・素早い実行を目指します。



15 おがわ としひろ
小川 稔宏

産業建設 ○議会運営

人としての尊厳と民主主義を大切に、いのちとくらしを守る。



16 ささだ たく
笹田 卓

産業建設 広報広聴

笑顔あふれる優しい浜田と一緒に創りましょう！



20 しばた みき お
澁谷 幹雄

議長

浜田市政発展と市民の幸福の実現のため、自らの責任を果たしたい。



21 にし た きよひさ
西田 清久

総務 議会運営

新執行部と新議会がスタート。ブレない車軸と原動力は市民の声！



22 かわかみ ひろし
川神 裕司

総務

「人口」が減っても「人材」は減らさない！その覚悟で取組みます。



議員の紹介

略称一覧

◎：委員長 ○：副委員長

総務委員会：総務

文教厚生委員会：文教厚生

産業建設委員会：産業建設

予算決算委員会：予算決算

議会広報広聴委員会：広報広聴

議会運営委員会：議会運営

※予算決算委員会は議長以外の全議員が委員です



01 にしだ いっぺい
西田 一平

○産業建設 広報広聴

浜田市出身ではない、よそ者目線を大切に市政へ取り組みます。



05 はなだ かおり
花田 香

文教厚生 広報広聴

思いはブレずに、強く明るく柔らかく！何でも吸収していきます！



06 とつかわ みつぎ
戸津川 美二

総務 広報広聴

人との絆を大切に、誰もが安心して暮らせる社会の実現を目指して頑張ります。



07 むらき かつや
村木 勝也

◎産業建設 議会運営

当事者意識を持ち、同じ目的のために共に考え、行動します。



11 あだち たけし
足立 豪

◎文教厚生 議会運営

誰もが幸せに生きることを当たり前。



12 かわかみ いくお
川上 幾雄

産業建設 ○予算決算

気になること、変と感じたことを納得できるまで調べる。



13 なぎら まちこ
柳楽 真智子

○総務 議会運営

必要な人に必要な支援が届くよう、しつこく粘り強く活動してまいります。



17 おかもと まさと
岡本 正友

総務 広報広聴
◎議会運営

現場主義で、まちの力を未来へ！



18 あしたに ひで
芦谷 英夫

文教厚生

仕事は段取り八分を心掛けています。これは何事にもつながります。



19 ささき とよはる
佐々木 豊治

総務

小さな声を大切に！
現場の声をカタチに！



9月定例会議

今回はこれがポイント！

令和6年度決算を慎重に審議！議会による事務事業評価を本格実施

9月定例会議では、市長提出議案30件と議会提出議案2件、請願1件について審議しました。内容は議会提案の条例改正、国の規則や通知、さらには、提案条例に係る関係法律の改正に伴うものと、「浜田市国民宿舍千畳苑条例」の廃止や新たに「浜田市美又温泉美肌観光拠点施設条例」を制定するものです。財産の処分は、浜田市国民宿舍千畳苑の売買に係る議案、工事請負契約は、美川小学校建設に関わる議案、その他財産の取得、工事請負契約の変更、市道路線の廃止などです。人事に関する議案は、浜田市監査委員の選任や浜田市教育委員会委員の任命を含む4件です。

令和7年度浜田市一般会計補正予算（第5号）では、普通交付税の決定に伴う調整やeスポーツによるデジタル人材育成事業などに係る予算に20億2,203万円が計上されました。

9月定例会議は予算決算委員会において、令和6年度の各事業の決算審査を行い、併せて9事業を抽出して、「議会による事務事業評価」を本格導入し、議会としての監視機能を強化し、決算審査の充実を図りました。決算認定についての詳細は8、9ページをご覧ください。

トピックス

議会による事務事業評価を本格的に実施

令和6年度に試行した上で令和7年度から議会による事務事業評価を導入しました。この事務事業評価と決算審査を予算審査に生かすことにより、議会の監視機能を強化し、市政における課題の共有と事業の適正化や効率化に向けた改善を図ることを目的として導入しています。3常任委員会での協議により9事業を選定しました。調査に当たっては所管事務調査や現地調査、さらには関係者からの聞き取り調査によつて現状を把握するとともに、関係課から提出を受けた事務事業評価シートを基に、事業の成果と課題なども聞き取りを行い、全議員で議会としての評価を意見書にまとめました。

議会評価意見書（令和6年度事業）の結果		
事業名	事業内容	予算規模
結婚新生活支援事業	現行どおり	現状維持
高校生通学定期券助成事業	要改善	拡充
イベント情報発信事業	廃止	廃止
介護人材確保・定着対策事業	要改善	拡充
地域医療連携事業	要改善	拡充
地域の再エネ導入支援事業	要改善	拡充
ふるさと体験村維持管理事業	要改善	現状維持
担い手等育成支援事業	要改善	縮小
浜田市商業活性化事業	現行どおり	現状維持

問 評価の際に注目した視点は何ですか？
答 ①市民のニーズ
②市民参加や協働の有無
③市が実施する必要性
④費用に合った効果
⑤目標の達成状況と全体予算のバランス
の5項目の視点を持つて、事業内容と予算規模について評価しました。

問 議会評価意見書の詳しい内容はどこで見ることが出来ますか？
答 浜田市議会のホームページに掲載しています。また、協議の過程は動画にて見ることが出来ます。



浜田市議会 HP



（協議の過程）

請願1件が継続審査 議員任期満了に伴い審議未了

経営難により今後の学校運営が困難であるとのことから、リハビリテーションカレッジ島根に対し1億円の財政支援を求める内容の請願が学校法人同志舎から提出され、所管である総務文教委員会で審査を行いました。

9月9日に開催した委員会では、参考人として招致に応じた学校長と事務局長から、請願に至った経緯や学生数の状況、経営状況などの説明を受け、市や参考人に対し、質疑を行いました。

その後、委員間で自由討議を行い、委員会としては「継続審査」と判断しました。議員任期中には結果が出せず、10月22日の議員任期満了に伴って審議未了となり、この請願は廃案となりました。

問 浜田市はこれまでどのような支援をしたのですか？

答 入学金免除補助や奨学金返還免除補助、経営改善資金貸付け、経営改善支援補助金（令和3年度に1億円）など多様な支援を行っており、今後も支援の可能性を検討します。

問 入学者の増減はどのような状況ですか？

答 従来の50人程度から70人に増加しており、今後は留学生の受け入れに力を入れ、入学者100人を目指すようです。

問 リハビリテーションカレッジ島根は地域にとってどのような施設ですか？

答 地域の行事に参加したり、まちづくりセンターで講義活動を行ったり、中学校へ出前

授業に行ったりと、地域貢献も果たしている施設です。また、学校があることで約200人の学生が三隅町を中心に住んでいて、経済効果も大きいです。

問 なぜ継続審査になったのですか？

答 委員会としての意見は次のとおりです。

- ・浜田市にとって重要な施設であると認識するものの、浜田市長、市議会議員選挙を控える中、現時点での判断は困難であり、改選後に改めて判断すべき。
- ・全議員での自由討議などを通じ、施設に対する理解を深めて判断する必要がある。



議案等の賛否の公開

9月定例会議で賛否が分かれた議案はありませんでした。
11月臨時会議で賛否が分かれた議案は以下のとおりです。
各議員の賛否や、請願、陳情審査結果などの詳細は、市議会ホームページをご覧ください。

令和7年9月 ●定例会議● 市長提出議案30件 議会提出議案2件

令和7年11月 ●臨時会議● 市長提出議案1件 選挙3件 選任2件 許可1件

議案番号	議案名等	賛成	反対
同意第8号	浜田市監査委員の選任について	20	1 森谷

請願・陳情について審査しました

請願1件

陳情1件

請願の内容	提出者	結果
リハビリテーションカレッジ島根に対する財政支援の請願について	学校法人同志舎 理事長 岩谷 百合雄	継続審査 (審議未了により廃案)

令和6年度のお金の使い方

議会が 厳しく チェック



9月は決算議会と言われるように、前年度の決算を審査し、認定することがメインです。

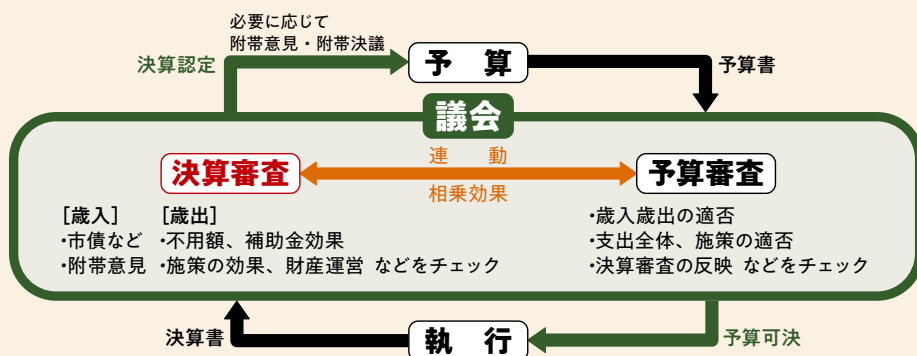
9月定例会議で令和6年度浜田市一般会計、特別会計、公営企業会計の決算審査を行いました。

決算審査は、予算（前年度の決算審査の内容や附帯決議が生かされ組み立てられた予算案を審議し認めたもの）がどのように執行され、無駄なく有効に政策実現がなされたかを、議員が決算資料を読み込み、質疑・確認・審査し、必要に応じて附帯決議を行います。

図のように、決算審査は、予算審査と連動させ、よりよい政策実現を支えるシステムの役割の一つと言えます。このシステムを生かすため、各議員は質問・質疑を重ねることで審査します。今回は、142の質問の通告があり、慎重に審査しました。

決算認定議案を全会一致で認定しました。なお、今回の決算審査では、附帯決議はありませんでした。

予算・決算の流れ



☑ 地域の再エネ導入支援事業

住宅用蓄電池補助件数は？

問 住宅用蓄電池設備において、どのような容量と価格が主流か、集会所などへの補助はないのか？

答 申請は6㏩蓄電池が多いが、太陽光発電4㏩の補助金に準じて算出している。昨年は蓄電池6件、太陽光7件で併用5件、蓄電

池の平均価格は180万円～190万円と高価だが蓄電池の導入支援こそが今最も求められており、市の補助金が少ないとの指摘が相次いだ。公共施設、集会所などの設置はできるが20年後継続できるかといった費用対効果などを考慮し検討中である。

☑ 介護人材確保定着対策事業

事業周知はどのように？

問 事業の執行率が26%と低い理由は？

答 支度金制度の活用が進まないことに加え、市内全体の介護人材が不足していることが根本的な要因と考えられる。

問 今後の対策をどのように考えているのか？

答 事業所への聞き取り結果を踏まえ、支度金の

金額が低いとの声があり令和8年度は拡充を考えている。また、事業周知の手法や内容に対する反応など求人活動の支援の拡充や外国人の受け入れ支援など事業内容を見直す。さらに、人材育成の観点から浜田地区広域行政組合と連携し、市としても何らかの支援策を検討していく。

☑ ふるさと体験村維持管理事業

案内看板の視認性は十分か？

問 案内標識設置工事費の内容は？

答 体験村への道路の案内標識4カ所の設置である。

問 案内看板は、どのようなデザインか？

答 サイズは50㏩×60㏩が3枚と60㏩×60㏩が1枚。デザインは、体験村のシンボルマークの水車を入れ、ふるさと体験村までの距離を記している。

問 白地に青文字は、周りに同化して視認性が低いのでは？

答 道路標識ではなく、観光標識を意識し、反射材を用い、夜間も視認性を高めている。

問 今後の視認性の高い案内板の設置は？

答 現時点では、予定はないが、今の提案を参考とする。

☑ 医師確保対策事業

入学者、卒業生の推移はどのように？

問 執行率が低調な理由と事業の効果についての課題は？

答 学会参加補助および地域医療視察等旅費の利用が見込みを大きく下回ったため、執行率が低調となった。一方、医学生への参加費補助の活用は大幅に伸びた。今後、医師や医学生に必要とされる事業内容となるような制度設

計を行っていく。

問 地域医療視察等旅費の活用が1人と少ない。ホームページの活用により浜田の魅力を発信しては？

答 令和7年度にホームページを見て実際に来られた方がおられるが、残念ながら定着とまではいかなかった。今後、積極的な発信を行っていく。

☑担い手等育成支援事業

「担い手育成」産地振興につながったのか？

問 執行率が低い理由は？

答 前年度の事業要望を聞いた後の取り下げや入札による減額で下がった。

問 事業実績として、担い手振興の効果は？

答 農地の維持が目的であり、この事業をされた方は、農地の維持面積が5%以上増加している。

問 担い手育成事業と産地振興事業の内訳は？

答 三果樹と有機野菜の機械導入の支援をした。具体的には、大粒ぶどう7件、西条柿5件、有機野菜6件となる。

問 三果樹の機械支援をみると「電動剪定バサミ」などの作業用品まで補助している内容は、過剰ではないか？

答 産地振興事業においては、作物を限定しており、生産量の増加になる支援をしている。指摘の「電動剪定ばさみ」は、普通の剪定ばさみより3倍の作業アップであり、高齢化する作業者の支援になっているものとする。

問 他の作物の作業者と比べ支援の公平性の観点から見直す検討は？

答 三果樹の生産の向上のため必要な支援と考える。

☑公園管理費

公園の維持管理をどのように行っているのか

問 管理すべき公園の数は？

答 浜田地域74カ所、金城地域3カ所、旭地域1カ所、弥栄地域1カ所、三隅地域16カ所の合計95カ所ある。

問 管理委託の内訳と委託先は？

答 東公園や三隅公園等56カ所の樹木の管理や芝刈り委託が約4,810万円で、

委託先は造園業者9社となる。次に20カ所のトイレや園内の清掃費が約750万円で、委託先は、シルバー人材センターなどで、浄化槽11カ所の管理費は約320万円で、委託先は、浄化槽業者となる。また、ゆうひ公園など41カ所の遊具点検が約120万円で、委託先は、点検資格を有する遊具メーカーとなる。



☑予約型乗合タクシー等運営事業

地域ニーズの変化に対応が求められる！

問 あいのりタクシー等運行支援事業補助金の上限を80万円に引き上げた効果は？

答 上限引き上げで地域のニーズに応えやすくなり、通院・買物だけでなく、イベント送迎など新たな活用も生まれている。また、まちづくり効果として、車内でのコミュニケーション促進や安否確認の役割も果たしている。

問 病院利用のマッチングの難しさの改善は？

答 難しさは認識しており、他地域の活用事例集を

作成・共有するなど改善を検討する。

問 この事業を継続していくための課題は？

答 課題は、一人での利用希望が多いことや、今後の利用増に伴う予算の確保などがある。

問 予約型乗合タクシー運行経費の執行率が低い理由は？

答 予約がない場合に支払う委託料の割合を60%に引き下げる契約見直しを行ったため。

☑児童生徒健全育成事業

重要な校内フリースクールの役割

問 校内フリースクール事業の成果と課題、民間活用の可能性は？

答 成果として、不登校等の児童が校内の居場所に登校できるようになり、そこから教室の授業に参加するなどのステップにつながっている。

課題は、運営を担う人材の確保・育成と支援方法の確立。民間活用については、この種の支援を行う民間団体を承知しておらず、まずは学校関係者や地域の方に相談し人材を発掘したい。

問 Q-Uテストの活用方法と効果は？

答 児童生徒の心理的な内面を把握するアンケートで、いじめや不登校のサインを早期発見したり、学級経営の改善に役立てたり、個別の教育相談の資料として活用している。

問 校内フリースクールの事業拡大についての考えは？

答 成果が出ていることから、今後、学校規模を見ながら配置を増やしていけるよう検討したい。

☑浜田城資料館管理事業

浜田城資料館の魅力をもっと発信！

問 事業の目的、効果、物販についての考えは？

答 目的は、浜田城や北前船寄港地について広く理解を深めてもらうこと。効果として、市内小中学生のふるさと郷育への寄与や、年間5,073人の来館による誘客効果があった。物販は、市などが作成した歴史文化関係の書跡を販売しているもので、大きな収益目的ではない。

問 会計年度任用職員の業務内容は？

答 職員は展示補助、普及事業、利用者対応、施

設管理など多岐にわたる業務を担っており、施設の運営に必要不可欠である。

問 委託料の内訳は？

答 委託料は、警備、消防設備点検、害虫防除などの費用。

問 来館者数5,073人についての評価は？

答 来館者数はコロナ禍以降順調に増加しており、「続日本100名城」のガイダンス施設として重要な役割を果たしていると評価している。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

浜田市議会はSDGs(持続可能な開発目標)を推進しています。
質問内容をSDGsの17のゴールで分類しています。



市政を問う

12人が
個人一般
質問



こちらから動画をご覧ください



すべての人に健康と福祉を

カスハラから働き手を守る防止条例の制定を

Q カスハラをなくすにはサービスを提供する側と受ける側の対等・平等な関係が大切。職員を守る施策と市民啓発とを併せて進めるべきでは？

A 職員の研修は実施しているが、市民へのポスター掲示やチラシ配布などの啓発は行っていない。

Q 出雲市では個人の特定を避けるため名札は名字のみで平仮名表記としている。浜田市の現状と対策についての考えは？

A 現在フルネーム表示だが、カスハラ対策の一つの検討事項とした。

Q 市が毅然たる姿勢を示し民間事業者を後押しするカスハラ防止条例制定に向けた考え方は？

A 国や他の自治体の動向を参考に条例制定について検討したい。



小川 稔宏



質の高い教育をみんなに

石見神楽を創り出したまち浜田を誇りに

Q 石見神楽を創り出したまち浜田なのに、石見神楽そのものが文化財指定されていない理由は？

A 石見神楽の関連用具製作技術や八調子の舞は、浜田市が発祥の地と言われているが、不明な点がある。文化財指定のためには価値を明確化する必要があるため、令和7年度から調査・研究に努めている。

Q 誇りを持つためにも、文化財指定は必要と考える。大学関係者で石見神楽の研究をまとめている方がいると聞いた。このような研究者とのつながりはないのか？

A 現在、大学の研究者との連携はしていないが、県内の民俗学に精通している学芸員と連携して調査を行っている。



柳楽 真智子

未来へつなげ地域の「宝」石見神楽

Q 市長が提唱された「石見神楽伝承館」は議会でも議論が白熱し、拠点施設整備に至らなかった。実現に至らなかった課題は？

A 「拠点施設」は必要と考えている。整備のための最大の課題は、市民の十分な理解を得ることである。

Q 市長は、地域再生の核となる「石見神楽」振興のため、後任にどのような思いを伝えたいか。

A 「石見神楽・保存伝承」の議論を市民・神楽関係者・行政が一体になり着実に進めてほしい。

(その他の質問項目)

- ・ 准看護学校廃止後の対策
- ・ 海上自衛隊補給基地誘致策



川神 裕司

産業と技術革新の基盤をつくろう

給油船老朽化問題に新たな視点を

- Q** 浜田港の老朽化した燃料給油船の現状は？
- A** 燃料給油船は浜田港のインフラとして重要な役割を担っており、老朽化が進んでいるため対策が必要と考えている。
- Q** 代替となる中古船のマッチングが1年以上うまくいっていない状況だ。国が推進するゼロエミッション船などの建造促進事業を活用し、新しい給油船を建造しては？
- A** 浜田港のカーボンニュートラルポート計画など、港の未来戦略と連動させた取組として、環境対応型の給油船の導入を検討することは非常に大切な視点だと考えている。引き続き事業者と情報共有を行いながら導入について検討していきたい。



肥後 孝俊

住み続けられるまちづくりを

どうなる、道の駅ゆうひパーク浜田

- Q** 説明によると、入口の案内所をなくし、コンビニ二店配置は委員会の意に反し、夕陽の絶景を生かすという市民要望も無視している。市への納付金も少額で話にならない。審査の整合性は？
- A** リニューアルに向けた優先交渉権者の提案について、委員会でもさまざまな指摘を受け再度検討中である。
- Q** 買い取る際に、市長が浜田に必要と言いつつ議会が議決したが、地域貢献の姿勢が見えないが？
- A** 指定管理とは違い、修理などのリスクを全て業者が背負うようになっていく。
- Q** これでは地域貢献のために、議会が議決した意味が反映されないが？
- A** 事業者を信頼したい。



牛尾 昭

「神楽サポーター制度」を創設すべきだ！

- Q** 市長が任期中に石見神楽を見てきた課題と評価は。
- A** 本市は神楽産業を生み出したまちであり、石見神楽は市が誇る伝統芸能であり、貴重な文化であると同時に、市内外から人を集めることができる。観光コンテンツでもある。課題は少子高齢化などに伴い、神楽団体や神楽事業者の中には継続することが困難な場合があることである。
- Q** 行政と企業・団体が連携し休暇制度を活用した神楽の支援など、資金や人材を提供して地域行事を継続可能にする宮崎県の神楽サポーター制度の取組を研究し創設すべきでは。
- A** 関係者としてしっかり議論して考えていきたい。



布施 賢司

浜田市が目指すまちづくり・未来像は！

- Q** 久保田市長就任時の最重要課題、人口減少対策を振り返っての所見は。
- A** 自然減と社会減が進んでおり、出会い・結婚・出産・子育てをトータルで応援する仕組みづくりや若者支援ファンドの創設などに取組んできたが歯止めがかからない。国に対しても強く働き掛けていく必要がある。
- Q** 将来的に伸びしろが期待できる産業分野は。
- A** 水産業において鯛三陽のアジフライ工場などの整備が決定し、県外まき網船の入港による水揚げ量の増加を期待。
- Q** 観光振興については。
- A** 石見神楽の魅力を広く発信し、旅行業者と連携した宿泊プランを整備。温泉分野では美肌観光を前面に美又温泉を整備。



西田 清久

住み続けられるまちづくりを

石見神楽は浜田の宝 振興に英知を絞れ



芦谷 英夫

- Q 石見神楽を大事な文化と捉え発信する体制は？
- A 保存と活用の両面から神楽の振興が重要で、検討委員会の報告を踏まえ整備構想を検討したい。
- Q 石見神楽の推進体制をつくることは？
- A 各地域の石見神楽社中連絡協議会などが法人化を目指す意思を示された際には、必要な制度や専門的知見の提供などを通じて、その自律的な取組を支援していきたい。
- Q 子ども神楽振興のため学校での取組は？
- A ふるさと郷育で石見神楽の文化や歴史をしっかりと伝えていくことが重要で、一部の学校だけでなく取組を拡大させたい。
- (その他の質問項目)
- ・地方創生
 - ・協働のまちづくり

「行財政改革」市民への影響は？



川上 幾雄

- Q 久保田市政で12年間行われた行財政改革の市民への影響は？
- A 行財政改革を行うということは市民サービスを良くするという意味で、施設を統合したらその維持管理費が浮くので、それを福祉など多様な事業に有効活用し、住民ニーズに対応した取組を行っている。
- Q 議員も市民の一員であり、市民にもぜひとも目を光らせていただきたいが、行財政改革について、メリットだけではなくデメリットはどうか？
- A 支出削減や有効活用を求めている統合などのいろいろなことから出てくるデメリットについて、どのようにしてクリアするかを考える必要がある。

気候変動に具体的な対策を

児童生徒における落雷への安全対策を



大谷 学

- Q 雷探知機の各学校への整備状況は？
- A 小中学校23校中購入済みが1校、購入予定が2校の計3校。
- Q 対策に向けた講習会などの実施状況は？
- A 実施していない。
- Q 最悪の場合、命の危険にもつながることだが？
- A 文部科学省からの通知もあり各校へは注意喚起した。雷探知機については活用状況を見て対応し、児童にも分かりやすい資料を配布するなどしてさらなる対応を行う。
- (その他の質問項目)
- ・路線価の下落
 - ・固定資産税への影響
 - ・子どもの声でつくる授業という授業プランの成果と課題
 - ・保育園・幼稚園と小学校との連携体制

平和と公正をすべての人に

早急にこども計画の取組の実行を！



村武 まゆみ

- Q 令和7年3月に策定された浜田市こども計画にあるこどもの権利について庁内研修の進捗は？
- A 令和7年度もこどもの人権やこどもの権利について、より深い内容の研修を実施する。
- Q 市民対象とした講演会を市主催で開催しては？
- A 将来的には実施したいが、まずは限定的な対象から取組を始めた。
- Q 市民団体や議員連盟からも要望のある「こどもの権利条例」の策定について、こども計画では検討するところがあるが現状は？
- A 具体的な検討には至っていない。
- (その他の質問項目)
- ・幼児教育センターの現状と今後
 - ・放課後児童クラブの民間委託の計画

パートナーシップで目標を達成しよう

未来につなぐ市政運営

● 市政の承継に当たり、今後の重要課題は、
 A 元気な浜田づくりにより、三つの重点目標を掲げ各種施策を展開してきた。最大の課題は少子化の進展が想定を上回り、社会減も加わり、人口が毎年約1千人減少していることである。改善には産業振興が最重要である。水産業・農業など地場産業の振興、ふるさと寄附の推進、企業誘致、石見神楽や温泉を核とした観光誘客などに取り組む必要がある。次期市長に市政のかじ取りを託したい。
 (その他の質問項目)
 ・ 統合後の雲雀丘小学校跡地の利活用
 ・ 市民の声を踏まえた基本方針



岡本 正友

活動を振り返って

NEWS 01

浜田市議会こどもの権利を考える議員連盟

令和4年10月、議員8人で「浜田市議会こどもの権利を考える議員連盟」を設立し、浜田市のすべての子どもたちが健やかに、自分らしく育つことのできる社会を目指し、子どもの権利に関する施策の推進と理解促進に取り組んできました。

設立から3年間で11回の会議を開催。市民団体や市の担当部署と複数回にわたり意見交換を行い、市の取組状況を把握し提案を行いました。さらに勉強会への参加や、令和6年2月に小金井市で開かれたシンポジウム、武蔵野市での視察を通して、子どもの権利条例を策定した自治体の施策を学び、令和6年9月には市長に要望書「浜田市子どもの権利の推進について」を提出しました。こうした調査研究や討論を重ねる中で、改めて子どもの権利の重要性を認識しました。この間ご協力いただいた市民団体の皆さまに心より感謝申し上げます。今後さらに浜田市において子どもの権利が推進されることを願っています。



NEWS 02

浜田市議会石見神楽振興議員連盟

地域の大切な文化財であり郷土芸能である石見神楽の振興を目的に、議員連盟を立ち上げて約3年が経過いたしました。

設立当時は「日本遺産石見神楽」を地域の誇りとして世界へ発信していこうとの活動方針を定め、「神楽団体の運営支援」「後継者育成」「神楽産業の浜田市文化財指定の実現」に対し、精力的に関係団体や神楽協議会と意見交換を実施いたしました。また執行部や議員連盟間で石見神楽振興に関わる課題を熱く協議し、石見神楽蛇胴の浜田市文化財指定、神楽文化伝承室の誕生などに大きく関わりました。

また、ここ数年市長が提唱してきた「石見神楽伝承館」の設置提案に関しては、浜田市議会はもちろんのこと議員連盟としても、拠点整備の必要性は認めつつも箱物ありきではない神楽拠点の在り方について議論を重ねてきました。令和7年6月に大阪・関西万博において大蛇55頭を中心とした石見神楽の素晴らしさを世界へ発信した際には、多くの議員が万博会場に駆け付け、世界からの来場者に浜田市や石見神楽の魅力を訴えたところです。さらに神楽産業の方々へのヒアリングもしっかり行い、課題について認識しました。

今期の活動は終了しますが、次期改選後も石見神楽振興議員連盟が立ち上がり、引き続き石見神楽振興に力が注がれることを期待します。



レポート



総務文教委員会

安心して移動できる浜田市を目指して

地域公共交通の課題を深く把握するため、地域井戸端会に参加された方々からのご意見を伺い、担当課へヒアリングを行うとともに、岡山県真庭市や千葉県香取市、鹿児島市などの先進事例を視察しました。令和6年4月から令和7年8月までに25回に及ぶ協議を重ね、地域の実情や住民の多様な移動ニーズを整理し、「移動の自由をどうつくるか」というテーマで持続可能で効率的な交通体系の在り方を検討しました。委員会として、利用の少ない路線を走るバスの小型化の検討、ICT活用や現行制度の見直し、自治会など地域主体の取組支援、市の組織体制の強化など多角的な提言をまとめました。これらの提言は「住民が安心して移動できる環境を守り、浜田市の地域力を高めるための取組」として位置付けています。未来の浜田市に向けた地域公共交通の充実への思いを込めた当委員会としての結論です。



福祉環境委員会

再エネ導入に係る 金融機関との意見交換

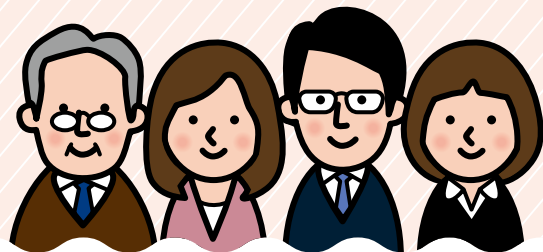
「地域の再エネ導入支援事業」の事務事業評価を行うに当たり、金融機関と意見交換をし、金融機関で実施されている省エネ住宅向けローン（ZEH・ZEB）の申請状況などを調査しました。金融機関では、省エネ住宅を対象とした住宅ローンの金利引き下げ制度や事業者向けの脱炭素経営の導入支援等をされており、優遇金利での省エネ導入を期待するところです。また、金融機関自身の脱炭素化への取組としては、太陽光パネルの設置やLED照明の全面採用などがあり、環境に配慮されていました。金融機関、行政、事業者が一体となり、脱炭素化を進めるべきと感じました。金融機関にも、環境関連ローン等の施策のPRと申請のサポートをぜひお願いしたいと思いました。有意義な意見交換でした。

産業建設委員会

総務文教委員会と合同で島根県立大学生との意見交換を実施

7月6日に行った「はまだ市民一日議会」で発言された島根県立大学生の井上さんと意見交換を行いました。志を同じくする方も同席され、県大生を中心に高校生と連携し、商店街の空き店舗を活用したチャレンジショップ型サードプレイスの提案について、詳しく話を伺うことができました。その後の動きとして、駅前カフェの収益モデルを計画し、空き店舗選択・補助金活用・クラウドファンディングでの資金確保などの準備を進め、令和8年10月オープンに向け、問題点を解決しながら進行されているようです。継続性の確保や学業との両立、初期費用・家賃・運転資金、周辺からの支援、高校生との関わり、サードプレイス（第3の居場所）としての考え方、市に求める支援、企画運営の支援者などについて意見を交わしました。委員会としても応援しながら様子を見守っていきたいと考えました。





委員会活動

議会運営委員会

委員会の所管の見直しを可決

教育委員会と子育てを含む福祉部局が別々の常任委員会の所管であるため、子どもに関わる施策の調査・研究がしにくいことをきっかけに、常任委員会における調査、審査、政策提言がさらに効率的かつ効果的に行えるよう常任委員会の所管の見直しについて検討してきました。

子ども施策は、教育、福祉、家庭、医療などの他分野での連携が不可欠であり、常任委員会において、教育と福祉の両面からより深化した、横断的かつ包括的な議論が行えるようにするため、教育委員会の所管を総務文教委員会から福祉環境委員会に変更し、委員会の名称については、総務文教委員会を総務委員会に、福祉環境委員会を文教厚生委員会に変更する委員会条例の一部改正が本会議で可決されました。

なお、上下水道部の移管についても検討しましたが、今回は行わないこととしました。

今後も委員会活動をより活発に行い、より効果的な取組につなげてまいります。

議会改革推進特別委員会

検討項目のまとめと引き継ぎ

これまで複数の検討項目を掲げ、検討を完了させながら新たな検討を現在進行形で行ってきました。この中で、検討が完了しなかった3点の項目を次期の議会に引き継ぐこととしました。

①多様な人材が議員に立候補しやすい環境整備について（住民参加の機会の拡充による議会への理解度向上や議員に立候補しやすい環境整備の充実）

②市への要望・提言等に対するその後の対応状況の検証について（提言などを出して終わりにするのではなく、その後どのような取組が進められているかなどを検証する仕組みの導入を9月に作成した「議会の提案等に係る検討手法（案）」をたたき台として検討する）

③一般質問・代表質問を政策提言に結び付ける取組について（一般質問・代表質問で行われた議員個々や委員会の政策提言を議会全体としての政策提言に結び付ける）

議会広報広聴委員会

議会の活性化へつながる広報広聴の取組

この2年間、未来へつながる議会を目指し、活動を重ねてきました。はまだ市民一日議会には小学生から大学生までの若い世代が多く参加し、多様な視点からの意見を伺うことができました。さらに高校生、大学生との意見交換会を実施し、若い世代の率直な意見を基に各常任委員会で討論しました。こうした取組が議会活性化につながり、多くの議会視察を受け入れることにもなりました。前委員会からの申し送り事項のSNSによる情報発信については検討協議しましたが、実施には至りませんでした。市民と議会をつなぐ広報広聴活動は、議会の信頼性を高め、市政への理解を広げる重要な役割を担っています。今後の活動にもぜひご注目ください。



ぎかいポストに 寄せられた意見へ回答



▶ご意見

議員の方の老後の保障をしてあげるべき。
議員年金を復活するべきと考えます。

▶対応経過及び結果


ご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。

地方議会議員年金制度は、平成23年に財政上の理由から廃止されております。

浜田市議会では、議員のなり手不足解消や活動環境の改善を目的に、令和6年3月18日に「厚生年金への地方議会議員の加入を求める意見書」を国に提出いたしました。今後も制度の在り方について国の動きを注視し、必要に応じて意見を届けてまいります。

各まちづくりセンターに、意見・ご要望用紙を「ぎかいポスト」とともに設置しておりますのでご投函ください。ウェブからも受け付けております。





12月

定例会議の 予定

- ・12月1日(月) 開会
- ・12月2日(火)～12月5日(金) 一般質問
ぜひ傍聴にお越しください。

※変更になる場合があります。

次号 (Vol.80) は
2月1日発行予定です。

表紙について

浜田市世界子ども美術館で開催中の展覧会『ぼうけん！植物展』の出品作品です。
アメリカ、フランス、ハンガリー、メキシコなど多くの国の子どもたちが描いた植物に関する児童画が展示されている作品の一つで、フランスの9歳の児童が描いたものです。
この企画展は、10月11日(土)から来年1月12日(月)まで開催されています。
現代美術作家や子どもたちが表現した植物の世界をお楽しみください。

はまだ議会だより miniも 見てね

コチラ



11月1日の41号はご覧いただけましたでしょうか。miniは浜田市議会ホームページにウェブ版として掲載していますのでぜひご覧ください。
次号は1月1日に発行予定です。

あとがき

議会広報広聴委員会の新しいメンバーが決まりました。次号から同委員会による編集です。ご期待ください。

(議会事務局)



★この議会だよりは一部当たり
29・48円(税込)でできます。